

宇宙総合学研究ユニット

NEWS 2016年10月号



宇宙学 学生海外派遣プログラム 第四期募集中！（11/30 締切）

宇宙学を受講する大学院生を対象に海外渡航活動費用（上限 30 万円）をサポートします。

（国際会議などへの参加だけでなく、海外での研究情報収集、滞在型共同研究、フィールドワークなども可）

第四期は 2017 年 2 月末日までに渡航を終了する計画が対象です。奮ってご応募下さい。

第四期は随時審査を行い、申請後 1～2 カ月程度で採否を通知をします。

詳細は <http://www.uss.s.kyoto-u.ac.jp/uchugaku/gakusei.html> をご参照ください。

研究科横断型講義「宇宙の人文社会学」（大学院生対象）

学際的・複合的な課題に対応できる能力の獲得を目的に、特に宇宙に関する専門知識を幅広く習得する事を目指します。要件を満たすと「学修証」を発行します。履修登録していない大学院生の受講も歓迎いたします。

シラバスなどの詳細は <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/cross/2016/b.html>

日時	内容	会場・備考
10月4日（火） 16:30—18:00	西本淳哉 氏（宇宙ユニット 特任教授） 「日本の宇宙政策」	理学研究科 4号館 127号室 （宇宙学セミナーと合同）
10月11日（火） 16:30—18:00	磯部洋明 氏（総合生存学館 准教授） 「宇宙と人文社会学の接点」	理学研究科 4号館 127号室
10月18日（火） 16:30—18:00	土井隆雄 氏（宇宙ユニット 特定教授） 「国連と宇宙活動—日本の貢献」	理学研究科 4号館 127号室
10月25日（火） 16:30—18:00	呉羽真 氏（宇宙ユニット 特定研究員） 「宇宙倫理学」	理学研究科 4号館 127号室
11月1日（火） 17:30—19:00	藤原洋 氏（宇宙ユニット 特任教授） 「インターネットと宇宙産業」	理学研究科 4号館 504号室 （宇宙学セミナーと合同）

宇宙学セミナー 2016年後期（学生・研究者対象）

宇宙に興味を持つ学内外の学生・研究者が集い、招待講師が提供する講演を議論のタネとして討論を行い、宇宙開発利用における学際融合的なアイデア創出を行うセミナーです。

ホームページ（<http://www.uss.s.kyoto-u.ac.jp/seminar.html>）に随時予定情報を掲載します。

日時	内容	会場・備考
10月4日（火） 16:30—18:00	第8回「日本の宇宙政策」 西本淳哉 氏（宇宙ユニット 特任教授）	理学研究科 4号館 127号室 （宇宙の人文社会学と合同）
10月24日（月） 16:30—18:00	第9回「宇宙の道と人の道—天文学者と倫理学者の対話」 伊勢田哲治 氏（文学研究科 現代文化学専攻 准教授） 柴田一成 氏（理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 教授）	理学研究科セミナーハウス

11月1日(火) 17:30-19:00	第10回「インターネットと宇宙産業」 藤原洋氏(宇宙ユニット 特任教授)	理学研究科4号館504号室 (宇宙の人文社会学と合同)
11月30日(水) 15:00-16:30	第11回「TBA」 田口聡氏(理学研究科 地球惑星科学専攻 教授)	理学研究科4号館104号室
12月19日(月) 16:00-17:30	第12回「宇宙の資源は誰かのもの? (仮題)」 近藤圭介氏(法学研究科 法政理論専攻 准教授)	TBA (吉田キャンパス北部構内予定)
1月25日(水) 15:00-16:30	第13回「TBA」 藤本健治氏(工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授)	TBA (吉田キャンパス北部構内予定)

その他のイベント予定一覧

日時	内容	対象・場所
10月7日(金) 16:30-18:00	宇宙倫理学会特別レクチャー 'Reimagining Icarus: Defining the Ethical and Legal Parameters for Human Space Exploration' Sara M. Langston 氏 (Senmurv Consulting LLC)	研究者・学生向け 京大文学部一階会議室 (京大文学研究科応用哲学・倫理学教育研究センターと合同)
10月15日(土) 19:00-21:00 (18:00 開場)	第4回 花山天文台野外コンサート (宇宙ユニット後援) 「古事記と宇宙」の映像ライブコンサート(演奏:喜多郎、高橋恵子) (小型望遠鏡を用いた観望会も同時に実施予定) ※参加申込終了	一般向け 京大理学研究科附属 花山天文台(山科区)
11月5日(土)	花山天文台一般公開 ※要参加申込(ウェブサイト・往復はがき) 天文台施設の見学、望遠鏡による天体観望などのほか、天文台をギャラリーとしたアート作品の展示「花山天文台 Galleryweek」を同時開催	一般向け 京大理学研究科附属 花山天文台(山科区)
11月20日(日) 14:00-16:45 (13:30 開場)	第6回 京大宇宙落語会 (宇宙ユニット後援) 第一部 落語会(桂福丸氏、笑福亭たま氏) 1. 第二部 トークショー(桂福丸氏、柴田一成氏、土井隆雄氏、笑福亭たま氏、磯部洋明氏)	一般向け 京都大学百周年 時計台記念館ホール (左京区)

2016年10月3日時点の予定です。最新の情報、各スケジュールの詳細、参加登録についてはウェブサイトをご覧ください。

歴史文献を使ったオーロラ搜索

宇宙ユニットの関係する研究会の1つ「歴史文献天文学研究会」は学生発案・主体で始まった研究が発展して形成されたものです。自然科学と歴史学の研究者が協力して歴史文献に現れる低緯度オーロラや肉眼黒点の記録を抽出・検討し、近代的科学観測開始以前の長期変動や極端宇宙天気現象の頻度・規模をしる手がかりとなる科学データとして整備を行っています。基礎データ整備として、中国正史にみられるオーロラ・黒点候補表現のある記録を抽出・検討し、データベース化を進めており、このデータベースをもとに様々な発展研究が進んでいます。また、文献を使った自然科学研究としては先行事例である古地震の研究グループなども協力し、未読文献の撮影や検討を協同で行うといったより広い範囲での学際共同研究も進みつつあります。

最近のトピックとしては、1859年に起きた巨大な太陽フレア(俗に「キャリントン・フレア」と呼ばれるもの)によって引き起こされ、世界各地で観測されたオーロラの東アジアでの記録を再検討しました。従来しられていた記録以外にも青森や秋田、和歌山で新たに記録を発見し、それをもとに磁気嵐の時間発展を議論していきました。8月に論文が受理されましたが、著者は太陽物理やオーロラの自然科学研究者と、東西交易史や近世日本史といった歴史研究者が含まれており、非常に学際的な論文となっております。

現在オーロラや地震以外にも「こういったことなら歴史文献からできる」とか「こういった文献なら読める」など、一緒に研究に飛び込んで頂ける方が居ましたら、関係者にご連絡ください。
(理学研究科附属天文台 玉澤春史)

京都大学 宇宙総合学研究ユニット
<http://www.uss.kyoto-u.ac.jp/>

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 吉田キャンパス北部構内 北部総合教育研究棟 403 号室
Tel&Fax: 075-753-9665 Email: uss@kwasan.kyoto-u.ac.jp